

生活 良くも悪くも様変わり

高校生 福田 紗弓 17 石川県小松市

私は、今のコロナ禍の状況が終わったとしても、以前のような生活には良くも悪くも戻ることができないと思っています。

今回のコロナ禍でプラスの部分は、オンラインで物事を処理する技術が進んだことです。仕事のテレワーク、食べ物のデリバリー、さらにオンラインでの人と人とがコミュニケーションを取る技術など、コロナ禍以前よりすごいスピードで普及していきました。これは振り返ってみれば良かったところでは

しかし、マイナスの部分としては、今回のコロナ禍で職を失った人、勤め先が倒産した人たちがいっぱいいると思います。以前のように仕事をしていける人もいるでしょうが、反対に苦しい状況に追い込まれた人も膨大な数で増えていると思います。

そういう苦しい立場にいる人には、今こそ頑張ってもらいたいと思います。



マスク姿 感情をどう伝える

高校生 本東 真侑 16 金沢市

新型コロナウイルスが流行してから約半年がたち、私たちの生活は一変した。

マスクは学校などどこへ行くにしても、家から出る時には必ず着用しなければならず、生活する上でなくてはならない必需品になった。

私がそれで思ったのは、相手の感情の読み取りが難しくなったことだ。マスクをしていなくても感情を読み取ることは容易

ではない。なのに、マスクをして人と話すようになってからはますます難しくなってしまった。

相手の顔や表情を見ることで感情を読み取っていたのに、相手の目と声からでしか読み取ることができなくなった。

だからこそ私は、マスクをして人と話すときには普段よりも大きく身ぶり手ぶりをするなど相手のことも考えて、感情が伝わりやすいようにしていく必要があるなど思った。